

各位

2023年 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は当社業務に一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の日本経済は、原燃料価格の高騰や急激な為替の変動など、依然として厳しい状況でありましたが、年度後半にかけては新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進み、緩やかな景気の持ち直しの動きも見られるなかでの年越しとなりました。

当社は昨年2月に策定した長期ビジョン「VISION 2030」で、2030年のありたい姿を社内で共有し、その達成に向けた第一段階として、中期経営計画「OPEN 2024」(2022～2024年)をスタートさせています。「OPEN 2024」で当社は、「Change」をキーワードに様々な変革を図り、時々刻々と変化する事業環境に対し柔軟に対応できる事業・企業となるための土台作りを行っています。昨年実施した「Change」の具体例を紹介いたします。

まず、当社の製紙用薬品事業としては中国に続く2つ目の海外生産拠点となるベトナム工場を10月から稼働させています。引き続き拡大が見込まれるアジアにおける製紙産業の発展に貢献してまいります。

当社グループの環境戦略製品関連としては、まずCNFで、NEDO助成事業「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発」に参画して製造プロセスの改良を進めており、物性を維持しつつ生産性を大幅に高められる見通しが立ちました。また、バイオフィルムコントロール剤においても様々な分野（例えば、造水膜、冷却塔や各種機器の洗浄）での実用化に向けた検討が進むなど、いくつか目に見える進展がありました。今後の進展につきましても、昨年より開始したTwitterや社外報等を活用し、積極的に随時情報を発信してまいります。

また、本年1月から、大学発のベンチャー企業である株式会社マリナノファイバーが当社グループに加わります。廃棄されている天然材料を有効活用したキチンナノファイバーを用い、化粧品やペットケア製品などのヘルスケア分野に積極展開している同社を梃子にして、当社グループの事業領域拡大を図ってまいります。

業績に関しましては、昨年来の原燃料価格の高騰に加え、「OPEN 2024」に掲げた事業基盤強化のための成長投資に伴う減価償却費の増加等が利益の下押し要因となっております。景気の先行きの不透明感も払拭されていませんが、ベトナム工場の本格稼働を足掛かりとした東南アジアでの製紙用薬品販売の量的拡大、新たなニーズを捉えた製品開発による高付加価値製品や環境配慮型製品の提供、継続的なコスト削減への努力の積み重ねにより、23年からはキャッシュを生み出す力を再び伸ばしていく所存です。

本年も、当社の経営ビジョンである「エコテクノロジーで未来を創る ～Explore the Future through Eco-friendly Technology～」に則って、昨年新たに制定したサステナビリティ基本方針を軸にESG経営を推進することで、サステナブルな社会の実現に貢献するべく、グループ全社員が一丸となり、全てのステークホルダーの皆様のご期待に応えてまいります。

今後とも倍旧のご支持を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2023年 元旦



星光PMC株式会社

代表取締役社長執行役員 菅 正道

